

授業科目	日常生活活動学	2 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	菅原和広 (保健医療学研究棟 E404 号) e-mail : kaz.sugawara@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	井平光、田代英之		
概要	日常生活動作(ADL)とは人間の諸活動を支える基本的活動であり、その意義と把握の仕方を理解するための評価指標を学習する。とくに、国際的に使用され臨床的にも使用頻度の多いADL 評価指標を学習する。また、起き上がりや立ち上がりなどの基本動作の評価や、食事やトイレ動作を含むADL 動作の評価方法を習得する。		
到達目標	1. ADL とは何かを概念的に説明できる 2. ADL の構造を理解し、代表的な評価方法を学習し、実践できる 3. 基本動作能力と ADL の関係を理解し、基本動作の評価ができる 4. ADL 動作の捉え方を学習し、ADL 動作の評価ができる		
関連科目	運動学、運動生理学、地域理学療法学、神経障害理学療法学、臨床実習		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	テスト	100%	
教科書	①石川 朗, 種村留美 総編集 長尾 徹, 長野 聖 責任編集 [2021] 「15 レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト ADL・実習」 中山書店		
参考書	指定なし		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ADL の概念と意義	事前：配布資料の抄読 事後：講義・配付資料の復習	講義	井平
2	ADL 評価の基礎	事前：配布資料の抄読 事後：講義・配付資料の復習	〃	井平
3	Barthel Index	事前：配布資料の抄読 事後：講義・配付資料の復習	〃	井平
4	Functional Independence Measure (運動項目)	事前：配布資料の抄読 事後：講義・配付資料の復習	〃	田代
5	Functional Independence Measure (認知項目)	事前：配布資料の抄読 事後：講義・配付資料の復習	〃	田代
6	基本動作の理解 1	事前：配布資料の抄読 事後：講義・配付資料の復習	〃	井平
7	基本動作の理解 2	事前：配布資料の抄読 事後：講義・配付資料の復習	〃	菅原
8	日常生活活動のまとめ	事前：配布資料の抄読後：講義・配付資料の復習	〃	井平